

2025年度 第3四半期決算説明会

2025年11月11日
サントリー食品インターナショナル株式会社

売上収益は前年並みとなったものの減益、全体としては想定を下回った

売上収益

APACでの緩やかな回復および欧州が堅調に推移し、全体としては前年並み

- － APACはベトナム/タイ飲料事業が緩やかに回復。またオセアニアでのRTD販売も寄与し7-9月で増収となったものの、引続き想定を下回り減収
- － 欧州は増収であるものの、7-9月が想定を下回り累計では想定並み
- － 日本は8月における販売数量減の影響により想定をやや下回ったが前年並み

営業利益^(*)

APACおよび日本における販売数量減の影響等により、全体としては減益

- － APACはベトナム/タイ飲料事業における販売数量減の影響に加え、回復に向けた追加のマーケティング投資を実施したことにより想定を下回り減益
- － 日本はコスト高騰影響は想定通りだったものの、販売数量減等の影響により想定をやや下回り減益

*非経常的要因により発生した要素及び譲渡事業の損益影響を控除した既存事業ベース営業利益

2025年度 第3四半期累計（1-9月）実績

	1-9月 実績 (億円)	対前年			
		為替込		為替中立	
		増減(億円)	増減率	増減(億円)	増減率
売上収益	12,781	4	0.0%	53	0.4%
営業利益	1,266	△129	△9.2%	△125	△9.0%
非経常項目	△28	△10	—	△10	—
既存事業ベース* 営業利益	1,293	△119	△8.4%	△114	△8.1%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	754	△79	△9.5%	△73	△8.8%

*営業利益から非経常的要因により発生した要素及び譲渡事業の損益影響を控除した値

2025年度 第3四半期（1-9月）実績（セグメント別）- 既存事業ベース

売上収益（億円）		対前年			
		為替込		為替中立	
		増減(億円)	増減率	増減(億円)	増減率
日本	5,565	△13	△0.2%	-	-
APAC	2,827	△111	△3.8%	△75	△2.6%
欧州	3,010	145	5.1%	126	4.4%
米州	1,379	△5	△0.3%	27	2.0%
連結	12,781	16	0.1%	64	0.5%

セグメント利益（億円）					
日本	415	△58	△12.3%	-	-
APAC	342	△46	△11.9%	△42	△11.0%
欧州	539	41	8.3%	38	7.6%
米州	173	△3	△1.8%	1	0.5%
調整額	△175	△53		△53	
連結	1,293	△119	△8.4%	△114	△8.1%

既存事業ベース＝売上収益からは譲渡事業の売上収益を、セグメント利益からは非経常的要因により発生した要素及び譲渡事業の損益影響を控除した値

売上収益

5,565 億円

増減率

為替込

為替中立

△0.2%

—

セグメント
利益

415 億円

増減率

為替込

為替中立

△12.3%

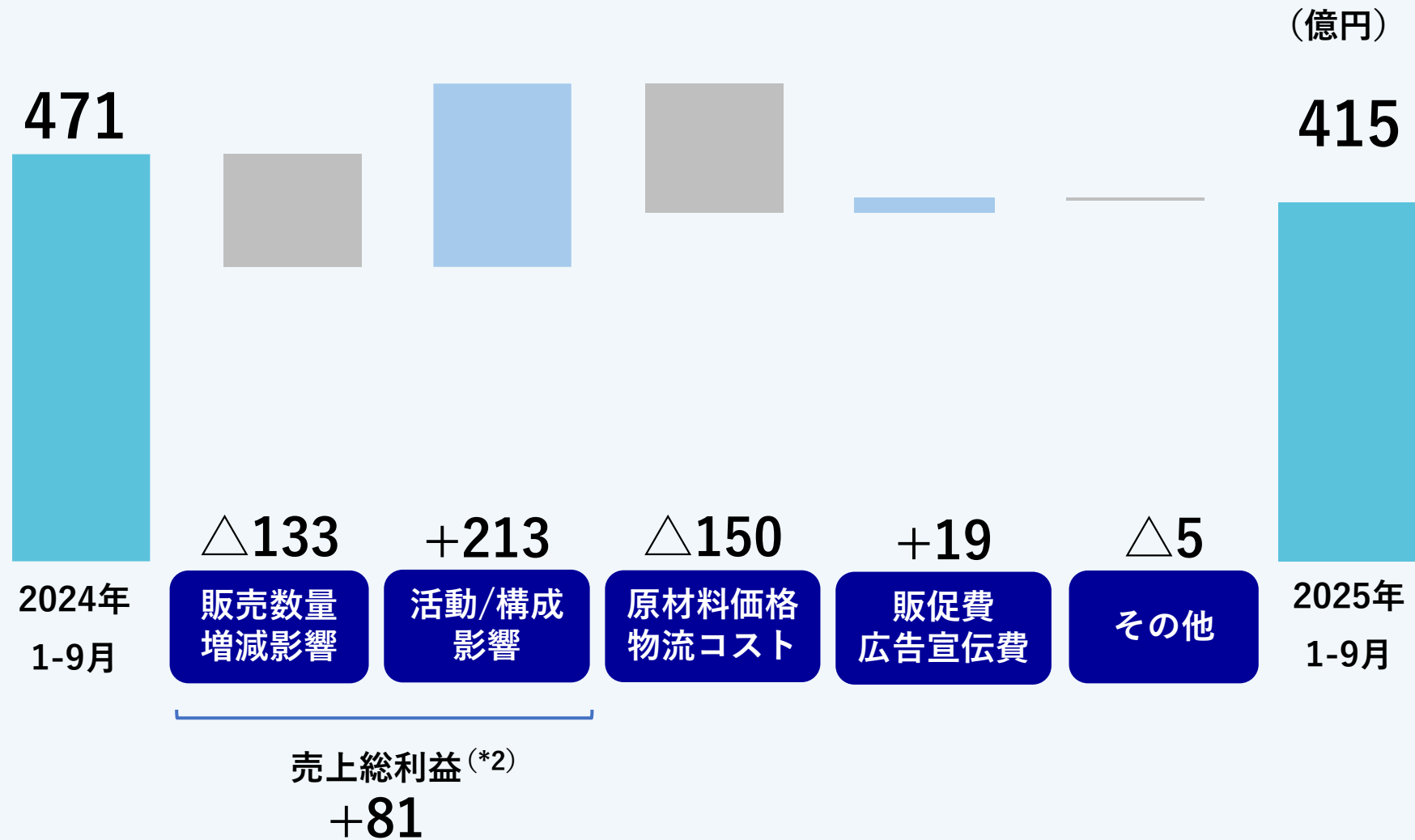
—

- 販売数量は、飲料市場 前年比 97%（推定）、当社 95%
価格改定や8月中旬の悪天候の影響、昨年の備蓄需要増の反動等により
前年・想定を共に下回った
- 売上収益は、価格改定とミックス改善により増収効果があったものの、
販売数量の減少の影響を受け、想定をやや下回ったが前年並み
- セグメント利益は、原材料・物流コスト高騰の影響は想定通りだったものの、
販売数量減およびそれに伴う製造・在庫関連コスト増等の影響を受け、
想定をやや下回り減益



既存事業ベース = 売上収益からは譲渡事業の売上収益を、セグメント利益からは非経常的要因により発生した要素及び譲渡事業の損益影響を控除した値

日本：2025年度 第3四半期累計（1-9月）利益増減分析^(※1)



(※1) 非経常項目を含むセグメント利益

(※2) 原材料価格・物流費影響を除く売上総利益

売上収益

2,827 億円

増減率

為替込

為替中立

△3.8%

△2.6%

セグメント
利益

342 億円

増減率

為替込

為替中立

△11.9%

△11.0%

売上収益

増減率

為替込

為替中立

飲料事業
(ベトナム)

1,004 億円

△13.5%

△8.3%

飲料市場全体の消費低迷や旧正月向け在庫の解消遅れによる販売数量減

飲料事業
(タイ)

766

△3.3%

△8.3%

低気温、雨期の早期到来や外国人観光客の減少に伴う飲料市場全体の消費低迷による販売数量減

健康食品
(*)

290

4.8%

△0.6%

タイ市場全体の消費低迷や外国人観光客の減少の中でも販売が堅調に推移しており前年並み

飲料事業
(オセアニア)

617

13.8%

20.7%

エナジーカテゴリー市場が好調であることに加え、豪州におけるRTD生産・販売開始による販売数量増

(*) 健康食品は、タイ及びインドシナ半島の実績

既存事業ベース＝売上収益からは譲渡事業の売上収益を、セグメント利益からは非経常的要因により発生した要素及び譲渡事業の損益影響を控除した値



早期回復に向けた打ち手を着実に推進

ベトナム

販促強化および商品リニューアルを実施
販売数量増およびシェア向上に寄与

PEPSI



TEA+



Sting



タイ飲料

ニーズの変化を捉えた容量/価格設定や
新商品投入を実施し、シェア獲得に寄与

PEPSI



250ml PET

TEA+



無糖タイプ



375ml PET

構造的な課題の解決に向けた抜本的な改革についても引き続き進行中

■ 欧州：2025年度 第3四半期累計（1-9月）実績 - 既存事業ベース

売上収益

3,010 億円

増減率

為替込

為替中立

5.1%

4.4%

セグメント
利益

539 億円

増減率

為替込

為替中立

8.3%

7.6%

売上収益

増減率

為替込

為替中立

フランス **1,082** 億円

2.4%

1.7%

砂糖税増税による売上収益の増加はあるものの、消費の低迷により想定を下回った

英国 **914**
(*1)

12.5%

11.8%

主力のエナジー・スポーツカテゴリーが堅調も、7-9月は販売数量が想定を下回った

スペイン **542**
(*2)

0.2%

△0.5%

業務用トニック市場の縮小による影響を他ブランド等で補い、前年同期並み

(*1) 英国、アイルランド (*2) スペイン、ポルトガル

既存事業ベース＝売上収益からは譲渡事業の売上収益を、セグメント利益からは非経常的要因により発生した要素及び譲渡事業の損益影響を控除した値



売上収益

1,379 億円

増減率

為替込

△0.3%

為替中立

2.0%

セグメント
利益

173 億円

増減率

為替込

△1.8%

為替中立

0.5%

- 販売数量は、主力の「PEPSI」が前年を上回り、非炭酸カテゴリーも堅調に推移
- 売上収益は、炭酸、エナジーカテゴリーが堅調に推移し増収
- セグメント利益は、増収効果等により増益であるものの、水カテゴリーにおける一部商品の取り扱い減により想定を下回った



既存事業ベース = 売上収益からは譲渡事業の売上収益を、セグメント利益からは非経常的要因により発生した要素及び譲渡事業の損益影響を控除した値

2025年度 年間業績予想の修正について

	通期 修正予想 (億円)	年初予想との差異		対前年			
		増減 (億円)	増減率	増減 (億円)	為替中立	増減率	為替中立
売上収益	17,210	△750	△4.2%	242	267	1.4%	1.6%
営業利益	1,470	△140	△8.7%	△132	△132	△8.3%	△8.2%
既存事業ベース* 営業利益	1,550	△165	△9.6%	△129	△127	△7.7%	△7.6%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	845	△55	△6.1%	△90	△90	△9.6%	△9.6%

*営業利益から非経常的要因により発生した要素及び譲渡事業の損益影響を控除した値

■ 2025年度 修正予想（セグメント別） - 既存事業ベース

(億円) 既存事業ベース 売上収益	通期 修正 予想	対前年		年初予想 との 差異	25年 10-12月 予想	対前年	
		為替中立				為替中立	
		増減	増減率			増減	増減率
日本	7,355	37	0.5%	0	1,790	50	2.9%
APAC	3,985	31	0.8%	△740	1,158	143	14.1%
欧州	3,935	179	4.8%	80	925	53	6.1%
米州	1,935	31	1.6%	△90	556	4	0.8%
連結	17,210	278	1.6%	△750	4,429	251	6.0%
既存事業ベース セグメント利益							
		増減	増減率			増減	増減率
日本	465	△28	△5.7%	0	50	30	152.8%
APAC	455	△57	△11.2%	△140	113	△14	△11.3%
欧州	660	38	6.1%	15	121	0	0.1%
米州	235	2	0.9%	△25	62	1	2.1%
調整額	△265	△82		△15	△90	△29	
連結	1,550	△127	△7.6%	△165	257	△12	△4.5%

既存事業ベース＝売上収益からは譲渡事業の売上収益を、セグメント利益からは非経常的要因により発生した要素及び譲渡事業の損益影響を控除した値

急速かつ複雑に変化する外部環境やマーケットを的確に捉え
スピード感を持って“Way of Working”を変革する

経済環境

- マクロ経済低迷、インフレの継続、関税動向

競争環境

- 主要国における競争環境の激化

コスト環境

- 原材料市況及び調達コスト環境の不透明感

SUNTORY

SUNTORY BEVERAGE & FOOD

参考資料については、サントリー食品インターナショナル（株）のHPに別途開示しております。
以下URLよりご参照ください。

掲載先URL：

（日本語HP） https://www.suntory.co.jp/softdrink/ir/library_earnings/

（英 語HP） https://www.suntory.com/softdrink/ir/library_earnings/

本資料は情報提供のために作成されたものであり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。

本資料には、当社又は当社グループの今後の業績等に関連して将来に関する記述を含んでおります。将来に関する記述は、現在入手可能な情報を踏まえて、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、経済動向、業界での競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでいます。従って、将来、実際に公表される業績等は、これらの種々の要素によって変動するため、本書作成時点と異なる可能性もあります。

当社は、本資料の情報を使用されたことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありませんので、ご了承ください。